

## 2019年度「書物との出会い ハ(視ることと読むこと)」リーディングリスト

\*各項目に含まれる内容

(1)書誌情報／(2)その本が関連する学問領域／(3)キーワード:その本が関連するテーマなど／(4)本の難易度:0～3まで (数が大きいほど難易度が高い)／(5)推薦した教員のコメント／(6)推薦者の名前、所属

- (1) 船津衛(2010年)『コミュニケーション・入門 改訂版』有斐閣アルマ、1944円、ISBN:9784641123960
- (2) 学問領域:社会学、社会心理学
- (3) キーワード:コミュニケーション、自我
- (4) 難易度:1
- (5) コミュニケーションとは、主体間で繰り広げられる表現、解釈、伝達の行動です。この本は、この原理に立ち戻り、心のなかから、個人間、個人と集団、マスメディア、インターネットに至るまで、包括的にかつ分かりやすくコミュニケーションを解説しています。
- (6) 推薦者:武重雅文(名誉教授)

- (1) 池上嘉彦(1984年)『記号論への招待』岩波新書、864円、ISBN:9784004202585
- (2) 学問領域:言語学、記号論
- (3) キーワード:コミュニケーション、記号、文化
- (4) 難易度:2
- (5) コミュニケーションに必須の、言葉に代表される記号は、われわれの認識や思考に重要な役割をはたす。本書は、言語学から生まれた記号に関する理論を用いて、コミュニケーションにおける意味の生成、変化を解説した、当該分野の代表的入門書。
- (6) 推薦者:武重雅文(名誉教授)

- (1) ヴァルター・ベンヤミン(1999年)『複製技術時代の芸術』佐々木甚一編集、晶文社クラシックス、ISBN:9784794912664
- (2) 学問領域:美学、哲学
- (3) キーワード:複製(コピー)文化、アウラ(オーラ)
- (4) 難易度:3
- (5) オーラといえば、人を取り巻くある種の輝きとして、皆さんもよく使われる言葉でしょう。ベンヤミンは、本書でオリジナルの芸術作品がもつ輝きとして、この言葉(アウラ)を用い、映画などを例に複製技術時代の芸術の変容について論じています。
- (6) 推薦者:武重雅文(名誉教授)

- (1) 白倉伸一郎(2004年)『ヒーローと正義』子どもの未来社、絶版、ISBN:9784901330428
- (2) 学問領域:社会学
- (3) キーワード:特撮ヒーロー、正義、プロデューサー
- (4) 難易度:1
- (5) 「特撮ヒーロー番組なんて、所詮子どもだましでしょ」なんてあなたが思っているのだとしたら大間違い!特撮ヒーロー番組の見え方だけでなく、「社会」の見え方も変わってしまう、推薦者一押しの一冊です。
- (6) 推薦者:葛城浩一(大学教育基盤センター)

- (1) 斎藤美奈子(2001年)『紅一点論ーアニメ・特撮・伝記のヒロイン像ー』筑摩書房、842円(文庫)、ISBN:9784480036667
- (2) 学問領域:社会学
- (3) キーワード:アニメ、特撮、ジェンダー
- (4) 難易度:2
- (5) 特撮ヒーロー番組だけでなく、アニメ番組のヒロインがどのように描かれているのかがよくわかる一冊です。アニメ番組には女兒向けのものも多く取り上げられているので、女子学生には特にお勧めします。
- (6) 推薦者:葛城浩一(大学教育基盤センター)

- (1) 須川亜紀子(2013年)『少女と魔法ーガールヒーローはいかに受容されたのかー』NTT出版、4104円、ISBN:9784757143098
- (2) 学問領域:社会学
- (3) キーワード:魔法少女、ジェンダー
- (4) 難易度:3
- (5) いわゆる「魔法少女」モノのヒロインがどのように描かれているのかを分析した一冊です。少し難しく感じるかもしれませんが、プリキュアシリーズまで網羅されているので、好きな学生(女子学生に限りません)には特にお勧めします。
- (6) 推薦者:葛城浩一(大学教育基盤センター)

- (1) 萩尾望都(2018年)『私の少女マンガ講義』1500円+税、新潮社、ISBN:978-4103996026
- (2) 学問領域:芸術、倫理学、歴史学(現代史)
- (3) キーワード:マンガ、創作、3・11
- (4) 本の難易度:1
- (5) 『ポーの一族』を世に送り出した少女マンガの大家が、日本少女マンガ史、自らの創作作法について生き生きと語る講義録とインタビュー。「少女マンガ」という独特のメディアについていろいろと気づかせてくれます。「少女マンガ」に馴染みのない男子にもおすすめ。
- (6) 佐藤慶太(大学教育基盤センター)

- (1) 四方田犬彦(1999年)『漫画原論』1200円+税、筑摩書房(ちくま学芸文庫)、ISBN:978-4480084789
- (2) 学問領域:哲学、歴史学
- (3) キーワード:マンガ、創作、解釈
- (4) 本の難易度:2
- (5) コマ割り、ふきだし、オノマトペの書き込み(「ピカーッ!」「タッタッタッタ…」など)…。こういったマンガならではの表現に目を向けたことはありますか?これらの表現方法に着目しながら、マンガの固有性を浮き彫りにする本書の考察は、まさに目からウロコです。
- (6) 佐藤慶太(大学教育基盤センター)

- (1) 鶴見俊輔（松田哲夫編）（2018年）『鶴見俊輔全漫画論①、②』①=1700円＋税、ISBN: 978-4480098559、②=1600円＋税、ISBN: 978-4480098566、筑摩書房（ちくま学芸文庫）
- (2) 学問領域：哲学、歴史学
- (3) キーワード：マンガ、解釈、戦後
- (4) 本の難易度：2
- (5) 「漫画は、自由な思想の行使にとって不可欠なしなやかさを保つための、思想の屈伸運動を提供する」。この思想を基調として著者がありとあらゆる作品を縦横無尽に読み解いていきます。本を読むともの見方が変わる——このことを体験するのにうってつけの本です。
- (6) 佐藤慶太（大学教育基盤センター）

- (1) 橋爪大三郎 他（1996年）『知の社会学 / 言語の社会学』岩波書店、2,200円、ISBN: 4-00-010695-3
- (2) 学問領域：社会学、言語学、文学、芸術
- (3) キーワード：言葉、知、社会学
- (4) 難易度：3
- (5) 人間の知がどのように言語と関係しているか、さらにその関係がどのように人間の行動を社会的に編成しているかを、人文諸科学の分野で活躍している研究者が論理的に説明している。そのダイナミズムを知ることにより、現代社会の課題と自らの生き方について考察する手掛かりとなる本。
- (6) 推薦者：ウィリアムズ厚子（大学教育基盤センター）

- (1) 藤澤伸介（2011年）『言語力 認知と意味の心理学』新曜社、2,400円、ISBN: 978-4-7885-1230-6
- (2) 学問領域：心理言語学
- (3) キーワード：言語、意味、認知、生きる力
- (4) 難易度：2
- (5) 言語の使い方が、もの見方や心の持ち方にどのように影響をするかを様々な社会的な現象を分析しながら説いた本。言語の特質を知ること、物事の本質を見る力を養い、「生きる力」をつけるための手助けをしてくれる。
- (6) 推薦者：ウィリアムズ厚子（大学教育基盤センター）

- (1) チャールズ・M・シュルツ（1999年）『A Peanuts Book featuring SNOOPY 21 ボクは心配してないよ』 KADOKAWA、960円、ISBN: 978-4-04-704407-4
- (2) 学問領域：心理学、外国語（英語）、社会学
- (3) キーワード：スヌーピー、チャールズ・M・シュルツ、言語とこころ
- (4) 難易度：1
- (5) PEANUTS に登場する人物は誰も完璧ではなく、皆、なんらかの弱点を持っている。しかしながら、彼らのユーモアや人情の機微、そして常に前向きな気持ちは、複雑な社会に生きる読者の处世術のヒントになる。また、洗練された英語会話を楽しむことができ、特にパンチラインのウィットに富んだ英語表現はどのコマも記憶に残るものである。
- (6) 推薦者：ウィリアムズ厚子（大学教育基盤センター）

- (1) チャールズ・M・シュルツ (2009年) 『悩んだときに元気が出るスヌーピー』 祥伝社、780円、ISBN: 978-4-396-11182-3
- (2) 学問領域：心理学、外国語（英語）、社会学
- (3) キーワード：スヌーピー、チャールズ・M・シュルツ、言語とこころ
- (4) 難易度：1
- (5) 誰しも落ち込んだり、不安に思ったりすることがあるが、ここに出て来る登場人物も目の前の問題に対して自分なりに答えを出している。人生に正解はないということと、だからこそ人生は楽しく、かけがえの無いものであるということを教えてくれる一冊。オーセンティックな英語表現と絵をほぼ同時に認識することによる、漫画学習効果にも期待ができる。
- (6) 推薦者：ウィリアムズ厚子（大学教育基盤センター）

- (1) チャールズ・M・シュルツ (2005年) 『A Peanuts Book Special featuring SNOOPY — ルーシーの心の相談室 — 』 KADOKAWA、952円、ISBN: 4-04-704415-6
- (2) 学問領域：心理学、外国語（英語）、社会学
- (3) キーワード：スヌーピー、チャールズ・M・シュルツ、言語とこころ
- (4) 難易度：1
- (5) PEANUTSの漫画における「ルーシーの悩み相談」は、登場人物の心理を巧みに描いており、その心理は年齢や国や時代を超えて普遍的に読者の心に共感を呼ぶものがある。ルーシーのアドバイスは冷たいが、相談者とのやり取りから読み取れる教育的示唆は大きいものがある。それぞれの文脈における英語の表現がものの見方を楽しませてくれる。
- (6) 推薦者：ウィリアムズ厚子（大学教育基盤センター）

- (1) 柴田翔 (1985年) 『ゲーテ「ファウスト」を読む』 岩波書店、2,700円、ISBN：9784000048811
- (2) 学問領域：文学、芸術、歴史学、哲学・倫理学
- (3) キーワード：ゲーテ、ファウスト、メフィストフェレス、自己肥大化、理想主義
- (4) 難易度：2
- (5) 著者は『されど我が日々』で芥川賞をとったドイツ文学研究者です。『ファウスト』の翻訳も出していて、本書とともに読むことをお勧めします。複雑な『ファウスト』の世界が啓かれていく知的喜びを味わって下さい。
- (6) 推薦者：中谷博幸（名誉教授）

- (1) 若桑みどり (1996年) 『イメージを読む—美術史入門—』 筑摩書房、1,188円、ISBN：9784480041692
- (2) 学問領域：芸術、歴史学
- (3) キーワード：芸術、美術史、絵画、イメージ
- (4) 難易度：1
- (5) 外国語を正確に理解するために文法は大切です。同じように、異なる文化圏の造形芸術を視るとき、ちょっとした約束事や視点を知ると、がぜん理解が深まり、視ることが楽しくなります。その入門に打って付けの本です。
- (6) 推薦者：中谷博幸（名誉教授）

- (1) 幸福輝 (2005 年) 『ピーテル・ブリューゲル — ロマニズムとの共生』 ありま書房、5,184 円、ISBN : 9784756605856
- (2) 学問領域 : 芸術、歴史学
- (3) キーワード : ピーテル・ブリューゲル、芸術、フランドル絵画、イタリア、民衆文化
- (4) 難易度 : 2
- (5) ブリューゲルはよく農民画家と言われます。しかし、それでブリューゲルの魅力を十分に捉えているのでしょうか。ブリューゲルがいいな、と思った人は、是非この本を読んで下さい。魅力はさらに広がると思います。
- (6) 推薦者 : 中谷博幸 (名誉教授)

- (1) 北川フラム (2015 年) 『ひらく美術 : 地域と人間のつながりを取り戻す』 筑摩書房、886 円、ISBN : 9784480068422
- (2) 学問領域 : 美学、社会学
- (3) キーワード : 美術、地域、つながり
- (4) 難易度 : 1
- (5) 地域社会とアートを考えるうえで、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」は重要だ。その総合ディレクター・北川氏による本書には、瀬戸内国際芸術祭にもつながる、大地の芸術祭での彼の経験が記されている。
- (6) 推薦者 : 小坂有資 (大学教育基盤センター)

- (1) 藤田直哉編 (2016 年) 『地域アート : 美学 / 制度 / 日本』 堀之内出版、2700 円、ISBN : 9784906708550
- (2) 学問領域 : 美学、社会学
- (3) キーワード : 地域アート、批評
- (4) 難易度 : 2
- (5) 「地域アート」という言葉を広めたのは本書である。地域アートとは地方を舞台にしたアートフェスティバルのことだが、主に本書は様々な地域アートが乱立している社会現象を批評的あるいは批判的に捉えている。
- (6) 推薦者 : 小坂有資 (大学教育基盤センター)

- (1) 宮本結佳 (2018 年) 『アートと地域づくりの社会学 : 直島・大島・越後妻有にみる記憶と創造』 昭和堂、4536 円、ISBN : 9784812217337
- (2) 学問領域 : 社会学、美学
- (3) キーワード : 地域社会、持続可能なアートプロジェクト
- (4) 難易度 : 3
- (5) 活発化したアートプロジェクトによって呈された疑問を整理し、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」や「瀬戸内国際芸術祭」の舞台を事例にして、持続可能なアートプロジェクトの展開可能性を示している。
- (6) 推薦者 : 小坂有資 (大学教育基盤センター)